

AI inside、ノーコードで高精度なAIモデル開発ができる「Learning Center」を提供開始、AIを自作し低コスト・短期間でAI導入と運用が可能に

AIプラットフォームを提供するAI inside 株式会社(代表取締役社長CEO: 渡久地 択、本社: 東京都渋谷区、以下「AI inside」)は、ノーコードで高精度なAIモデル開発ができる「Learning Center」を4月21日より提供開始しますことをお知らせします。AIベンダーや開発者に依頼することなく、自社・自部門・自身によるAI導入と運用を低コスト・短期間で実現します。

The graphic features the AI inside logo in the top right corner. Below it, the text reads 'ノーコードで高精度なAIモデル開発' (AI Model Development without Code) followed by '低コスト' (Low Cost) and '短期間' (Short Period) in a dark banner. The main title 'Learning Center' is prominently displayed in the center. Below the title is a computer monitor showing two side-by-side video feeds of a warehouse. The left feed shows a person pushing a cart, and the right feed shows the same scene with AI bounding boxes around the person and cart. To the left of the monitor is a dark circle with the text '自分たちで作る AIモデル' (Create AI Model Yourself). To the right is another dark circle with the text '自分たちで運用' (Operate Yourself).

■ AI市場の概況

国内のAI市場は2025年度には約2兆円(※1)に達する見込みとされ、近年は実証実験から本格導入に移行する企業が増加し、市場全体が大きく成長しています。その背景には、デジタルトランスフォーメーションが求められる企業や自治体における、AI活用による生産性向上や業務効率化広がりがあります。一方で、AIを導入する際の課題として、AIについての理解不足・導入効果への不安・導入費用の高さ・AI人材不足・手軽に利用できるAIサービスや製品がないことなどが挙げられています。(※2)

従来のAI開発のフローは、AI利用の企画・データ収集・学習準備・研究開発・学習・評価・システムインテグレーションまで、AIベンダーや開発者のサポートが必須でした。AIベンダーや開発者にAI導入を依頼する場合、業務における課題や現場のノウハウを伝えるためのコミュニケーションが必要であることと、システム構成の検討や実証実験の実施など、導入までの期間が長期となることも、AIが簡単に導入・活用できない要因となっています。

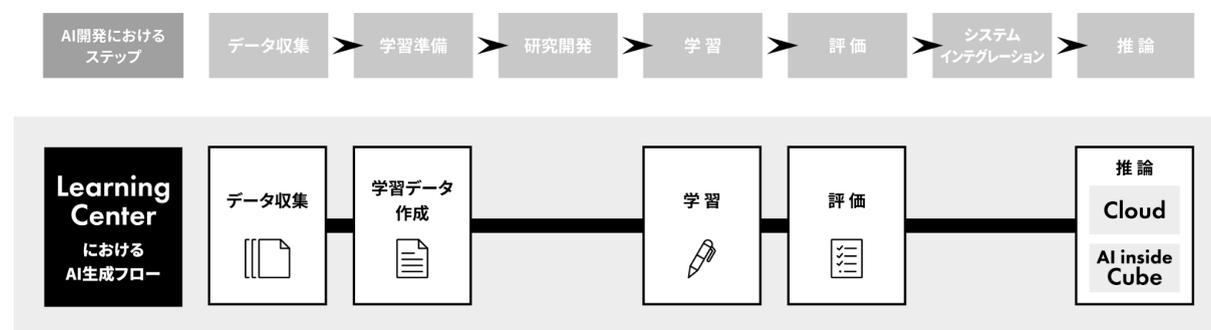
労働生産人口の減少が問題視されるなか、あらゆる企業・自治体におけるAI活用は避けて通れず、開発者でなくとも手軽にAI開発ができるよう、導入障壁を最小化させたサービスの提供が求められています。

※1 出典：富士キメラ総研「2020人工知能ビジネス層調査」

※2 出典：IPA「AI白書2020」企業におけるAIを導入検討するに当たっての課題

■ 「Learning Center」について(<https://learning-center.inside.ai>)

直感的な操作で使いやすい日本語のUIを備え、ノーコードで誰でも簡単に高精度なAIモデル開発ができるサービスです。AI活用を企画・データ収集の後、「Learning Center」上で、データの管理からAIの自動生成・配信までを、AIやプログラミングの専門知識は不要で、簡単な入力とクリックで実行できます。また、ユーザ自ら追加学習による精度改善や他システムとの連携も可能です。「Learning Center」はこれまでのAI開発の常識を覆し、AIベンダーや開発者に依頼することなく、自社・自部門・自身によるAI導入と運用を低コスト・短期間で実現します。



■ 利用料金

「Learning Center」はアカウント発行から学習データ作成までは無料で利用可能です。モデルを設計した後、学習と推論に対して定額の利用料金が利用月のみそれぞれ発生します。学習(作る)は月額10万円、推論(使う)は月額3万円で利用可能です。

※AI活用の要件によって、利用料金は変わる可能性があります。

※導入時の支援サービスをご希望の場合は、別途料金がかかります。

ご利用や導入に関するお問い合わせ：<https://learning-center.inside.ai/contact>

■ 活用想定シーンの例

1. 独自フォーマット帳票から文字を読み取り(非定形帳票 AI-OCR)
2. 外観検査(設備のメンテナンスなど)
3. 品質管理(検品・不良箇所の検知など)
4. 安全管理(異常検知など)
5. 医療における画像診断補助

アノテーション動画：<https://youtu.be/5lqBg4-F4lw>

作成したAIモデル「工場内混雑分析AI」動画：<https://youtu.be/X3SiH8xblpw>

(映像提供：大日本印刷株式会社)

Press Release

2021年4月21日
AI inside 株式会社

■ 今後の展開

AI inside は「Learning Center」の提供を通じて、エンタープライズのみならず中小企業においても、AI導入・活用を推進していきます。あらゆる業界で、業務の中で課題を感じている人が「Learning Center」でAIを自作することで、AIが分散的に生まれる社会を目指します。

さらに、AI inside は「Learning Center」で作ったAIをシェア・販売や、他のユーザが作ったAIを入手・購入するためのマーケットプレイスの構築を予定しています。このマーケットプレイス上では、自作したAIを出品したユーザは収益を得ることができ、AIを入手したユーザは開発リソースやコストを抑えてAIを活用できるようになります。

■ AI inside 株式会社について

AI inside は「世の中の人・物にAIを届け、豊かな未来社会に貢献する」というミッションのもと、AIが社会の隅々まで拡がった社会の実現を目指します。AI inside は、DX SuiteをはじめとしたAIやアプリを利用できる「Workflows」、ノーコードで誰でも高精度なAIを作成できる「Learning Center」、あらゆるAIを動かす「AI inside Cube」などのサービスにより、誰もが手軽にAIを活用できるプラットフォームを提供しています。

社名: AI inside 株式会社 (<https://inside.ai>)

所在地: 東京都渋谷区渋谷3-8-12 渋谷第一生命ビルディング4階

代表者: 代表取締役社長CEO 渡久地 択

設立: 2015年8月

事業内容: 人工知能および関連する情報サービスの開発・提供

・文中の製品またはサービスなどの名称は、AI inside 株式会社の商標または登録商標です。

<報道関係のお問い合わせ先>

AI inside 株式会社 (<https://inside.ai>) 広報担当

TEL: 03-5468-5041 E-mail: pr@inside.ai